

脳神経外科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 5-アミノレブリン酸 (5-ALA、アラベル®) を用いた術中蛍光診断検出装置 VLD-EX による神経膠腫手術の探索的研究とポルフィリン代謝経路に関する検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 山口 秀 (脳神経外科・助教)

[研究の目的] 神経膠腫における術中蛍光診断の有用性と安全性を高めるための検証。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

神経膠腫の患者さんで、平成 21 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日の間に、脳神経外科の研究用の腫瘍組織の保管に同意された方

○利用する検体・カルテ情報

検体：腫瘍余剰検体

カルテ情報：診断名、年齢、性別、病理検査結果、画像検査、手術所見

[研究実施期間] 研究実施許可日～2020 年 3 月 31 日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる削除して利用します。

*上記の研究に情報・検体を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院脳神経外科 担当医師 山口 秀

電話 011-706-5987 FAX 011-708-7737